

令和4年5月25日

ジュニア大会開催に関わる新型コロナウイルス感染症対策について

稲城市サッカー連盟 少年部

東京都少年サッカー連盟の今後の中央大会・ブロック大会の観戦対応目安に基き、稲城市内の9月以降の大会開催時の感染症対策を一部緩和するために、ジュニア大会で仮運用します。但し、『蔓延防止等重点処置』や『緊急事態宣言』が発令されたら、それらの期間は除きます。

以下、継続する従来の対策と、新たな方針を項目別に纏めました。

従来通りの項目

- 1, 会場を『試合会場』と『管理区域』に分け、観戦者は『管理区域』のみに留まる事が可能。『試合会場』には選手と2～5名以内の指導者(割当て審判員・運営スタッフ含む)と役員と審判部員のみが入場できる。管理区域と試合会場の境界線は大会の学年ごとに本部が定める。
- 2, マスク：試合会場・管理区域・駐車場等施設内で、他人との距離が保てず、且つ会話や声援を行う場合は全来場者ともマスクを着用する。但しアップ時や用具チェックから試合終了までの選手(控えも含む)と試合時の審判は熱中症予防のためにもマスクを外す。
- 3, 各チーム石鹸・消毒液・体温計持参し、検温と手洗い・消毒をまめに行う。
- 4, 試合日ごとに駐車場係の他に検温係を割り当てる。
全来場者は入場の度毎に非接触検温を受けて、平熱が確認出来た者のみ会場入りできる。
- 5, 全来場者は過去2週間の起床時の体温と体調を記載した『健康チェックシート』を持参し、当日のチーム責任者に提出して確認を受けなければならない。チーム責任者は内容確認して、問題の無い者だけを入場させる。(医療関係の回復証明の無い2週間以内の発熱は不可)

新たな方針

- 6, 健康チェックシートはチーム責任者が確認し了解を得たら本部に提出する必要は無い。
- 7, 大会は『限定有観客試合』とし、観戦者は選手1人当り『2名の観戦者+選手の兄弟姉妹』が『管理区域』内に留まって試合観戦できる。
- 8, 全来場者は来場者名簿に氏名と当日の体温を記載して提出するがジュニア大会においては選手と指導者は別途ジュニア大会参加者名簿に記載し、来場者名簿は観戦者のみで良い。

以上